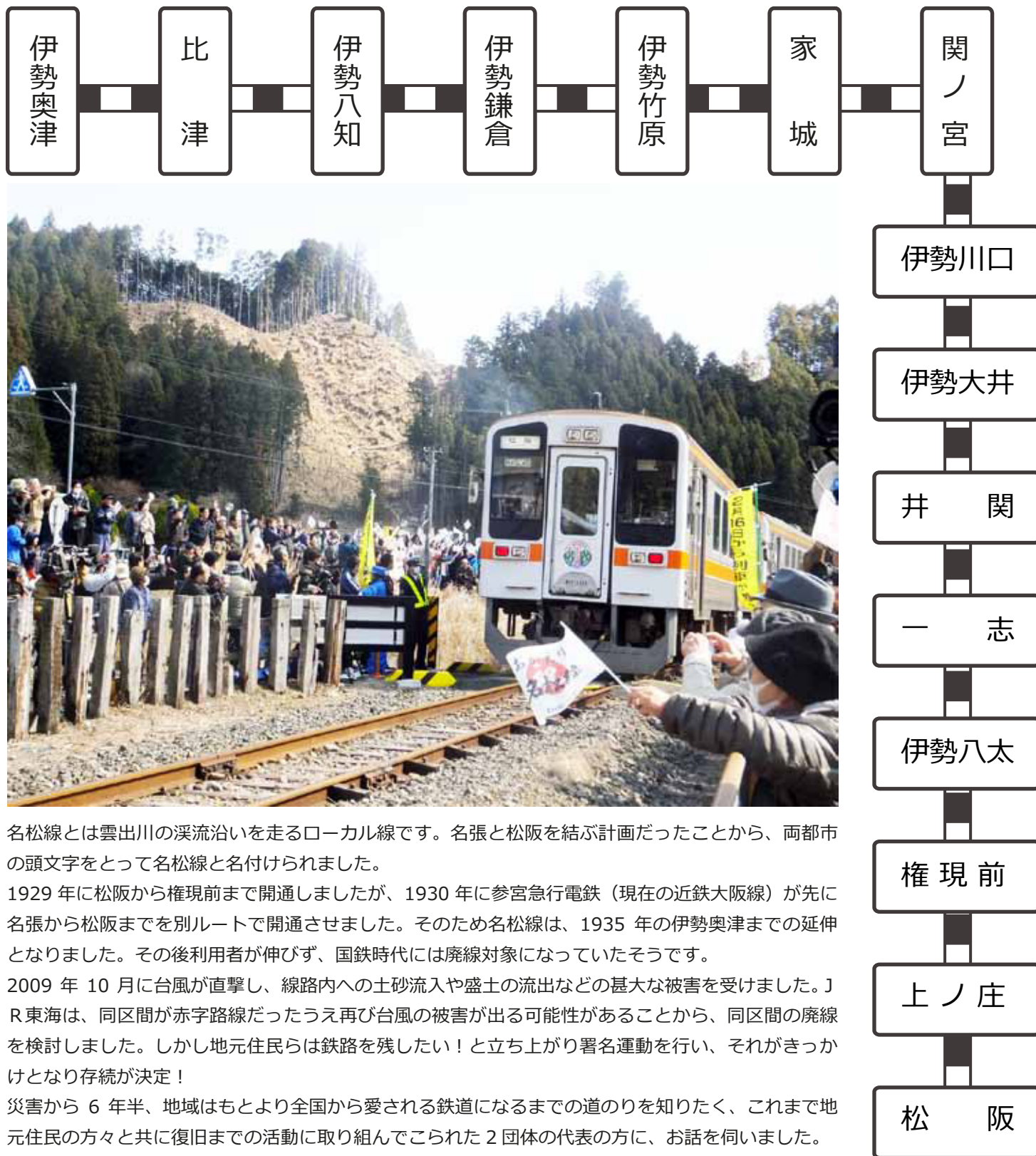


2016年3月26日 名松線全線の運転再開！

2009年10月8日台風18号の土砂災害によって、JR名松線・家城駅－伊勢奥津駅間は不通区間となっていました。今年3月26日、6年半ぶりに復旧し運転を再開しました。



名松線とは雲出川の溪流沿いを走るローカル線です。名張と松阪を結ぶ計画だったことから、両都市の頭文字をとって名松線と名付けられました。

1929年に松阪から権現前まで開通しましたが、1930年に参宮急行電鉄（現在の近鉄大阪線）が先に名張から松阪までを別ルートで開通させました。そのため名松線は、1935年の伊勢奥津までの延伸となりました。その後利用者が伸びず、国鉄時代には廃線対象になっていたそうです。

2009年10月に台風が直撃し、線路内への土砂流入や盛土の流出などの甚大な被害を受けました。JR東海は、同区間が赤字路線だったうえ再び台風の被害が出る可能性があることから、同区間の廃線を検討しました。しかし地元住民らは鉄道を残したい！と立ち上がり署名運動を行い、それがきっかけとなり存続が決定！

災害から6年半、地域はもとより全国から愛される鉄道になるまでの道のりを知りたく、これまで地元住民の方々と共に復旧までの活動に取り組んでこられた2団体の代表の方に、お話を伺いました。

名松線を守る会 「名松線を守る会」会長の日高 晃さんにお話を伺いました。



Q. 設立についてお聞かせください。

災害後、名松線（家城－奥津間）は将来的には廃線と打ち出されたことから、当時の美杉自治会連合会会長が中心となり、存続にあたっての運動を始めました。2009年11月19日美杉自治会連合会の組織で「名松線の全線復旧を求める会」を設立するとともに、名松線の早期復旧を求める署名運動を開始しました。地元住民をはじめ三重県内から11万6千人以上の署名を集め、国土交通省、JR東海に提出することができました。その結果、2011年5月JR東海、三重県、津市との間で運行再開に関する三者協定が結ばれ、三重県は治山工事、津市は水路整備工事、JR東海は本線復旧工事に着手し、「名松線の全線復旧を求める会」も復旧工事の側面協力を中心に行っていました。全線開通後は、われわれ住民も存続を守っていかうということで、団体名を「名松線を守る会」に改称し現在に至っています。

Q. 活動についてお聞かせください。

主な活動は、四季折々の景観を楽しんでいただくために、竹林整備や花植えを行っています。名松線を交通手段だけにするのではなく、楽しんで乗っていただきたいと活動しています。また、美杉中学校と協働作業を行っていて、生徒全員が美杉材でプランターを製作し、それに花の植え付けや管理を地域住民とともにを行っています。東京「三重テラス」で開催される展示会にも、数年前から参加し、「名松線沿線写真展」や地域の物産、民芸などを紹介して、奇跡の復活路線として全国にPRをしています。また植樹祭等のイベント時に乗車していただいた方へ、缶バッチやお箸などのグッズをプレゼントして名松線をPRしています。

Q. 今後の活動についてお聞かせください。

景観整備に力を入れて、利用客をお迎えたいです！乗車促進を行政および関連団体と連携しながら推し進め、地道に活動していきます。現在、会員募集中（一口100円）！名松線に関心のある方ならどなたでも会員になれます！

※伊勢奥津駅構内「津市伊勢奥津駅前観光案内交流施設・ひだまり」で申込みができます。



名松線を元気にする会 「名松線を元気にする会」会長の中田 かほるさんにお話を伺いました。



Q. 設立についてお聞かせください。

もともとは名松線にSLを走らせたいとの思いで、2010年8月1日に「名松線にSLを走らせる会」を設立しました。発起人は美杉町の方ではなかったのですが、地元の方も含めて約20人のメンバーでスタートしました。しかし、2009年の台風災害による家城－伊勢奥津間が運休のままでいいのか、名松線全線復旧は不可能なのかとの思いで、SLの運行に固執せず、実現可能なことを見据えた活動をするため、2013年4月1日「名松線を元気にする会」と改称しました。今は170名の会員がいて、7割が美杉町以外の方です。

Q. 活動についてお聞かせください。

さまざまな地域のイベントに参加しながら、四季折々の自然豊かな風景の中を走る鉄道である名松線の良さをPRしています。2013年9月22日に第1回伊勢本街道奥津宿の陣を開催。地元の人々も驚きのコスプレイベントなどを行い、約600名の来場者がありました。その後も1960年代のボンネットバス体験乗車、ビンテージ商用車大集合やジャズコンサートなどさまざまなイベントを開催し、県外からもたくさんの方々に参加してもらっています。メンバーが得意とする分野に関連するいろいろな企画を考え、SNS等で頻繁に情報を発信し、それを見た県内外からの参加者がどんどん増えています。皆さんに関心を持っていただけるよう、ユニークな企画をするようにしています。またモミジやクヌギ等の植樹活動や花植え等をして景観づくりにも力を入れ、そのことが必然的に野獣対策活動にもつながっています。

Q. 今後の活動についてお聞かせください。

「奥伊勢本街道奥津宿かわせみ庵」で以前から落語会や盆踊り、植樹祭等の催しをしています。かわせみ庵の代表もしながら、これからも名松線への関心が薄れないように今までと同様発信し続けます。地元住民が熱意を持って、この活動を継続していくことが大事です。止まったら負けです！名松線は美杉の中心軸。これからも名松線と共に走り続けます！！

